

1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、でん粉に関して適切な価格調整を図るため、半期ごとにでん粉の需給見通しを公表している。9月に公表したでん粉の需給見通しの概要は、次の通り（詳細は2021年11月号参照）。

でん粉の需給見通し

【令和2でん粉年度（見込み）】

需要量：240万1000トン（前年度比2.5%減）

供給量：244万0000トン（同2.1%減）

【令和3でん粉年度（見通し）】

需要量：255万5000トン（同6.4%増）

供給量：258万5000トン（同5.9%増）

表1 でん粉の需給見通し

（単位：千トン）

		令和元でん粉年度 （実績）	令和2でん粉年度 （見込み）		令和3でん粉年度 （見通し）				
		計	10～3月	4～9月	計	10～3月	4～9月	計	
需要	糖化製品	1,666	750	875	1,625	815	920	1,736	
	化工でん粉	301	121	152	274	145	156	301	
	その他（製紙用、ビール用、片栗粉など）	495	223	279	503	255	263	518	
	合計	2,462			2,401			2,555	
供給	前年度繰り越し	14			32			39	
	国産いもでん粉（生産量）	208	186	—	186	182	—	182	
		かんしょでん粉	28	21	—	21	23	—	23
		ばれいしょでん粉	180	164	—	164	159	—	159
	調整金 徴収 対象	コーンスターチ	2,108	936	1,129	2,065	1,037	1,159	2,196
		輸入でん粉 （糖化製品、化工でん粉用）	138	60	69	129	69	69	138
	輸入でん粉（その他用）	9	5	8	13	8	8	15	
	小麦でん粉	16	8	7	15	8	7	15	
	合計	2,493			2,440			2,585	
	次年度繰り越し	32			39			30	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

表2 国内産いもでん粉の需給見通し

(単位：千トン)

		令和3年10月～令和4年3月 (見込み)			令和4年4月～9月 (見通し)			令和3でん粉年度計			
		かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	上期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	下期計	かんしょ でん粉	ばれいしょ でん粉	計	
需要	交付金 対象 用途	糖化製品	5	15	20	5	14	19	9	29	39
		化工でん粉	1	20	21	0	15	15	1	35	36
		その他	4	19	23	5	21	26	9	40	49
		小計	10	54	64	10	50	60	20	104	124
	その他の用途	0	30	30	0	36	36	0	67	67	
	計	10	84	94	10	87	96	20	170	190	
供給	前期からの繰り越し	6	33	39	18	108	127	6	33	39	
	生産量	23	159	182	0	0	0	23	159	182	
	計	29	192	221	18	108	127	29	192	221	
	次期への繰り越し	18	108	127	9	22	30	9	22	30	

資料：農林水産省「でん粉の需給見通しについて」

注1：でん粉年度とは、10月から翌9月まで。

注2：ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

注3：交付金対象用途の「その他」について

ばれいしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、調味料、板紙（層間接着用）、水産養殖用餌料などである。

かんしょでん粉は、菓子類、麺類、水産練製品、冷凍調理食品、食肉製品、建材などである。

注4：交付金対象用途外の「その他の用途」は、片栗粉などである。

2. 輸入動向

【タピオカでん粉の輸入動向】

11月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2021年11月のタピオカでん粉の輸入量は、1万1952トン（前年同月比51.2%増、前月比9.9%増）と、前年同月から大幅に増加した（図1）。

輸入先国はタイ、ベトナム、ブラジルおよび台湾の4カ国で、輸入量は次の通りであった。

タイ 1万1845トン
(前年同月比52.6%増、前月比10.1%増)

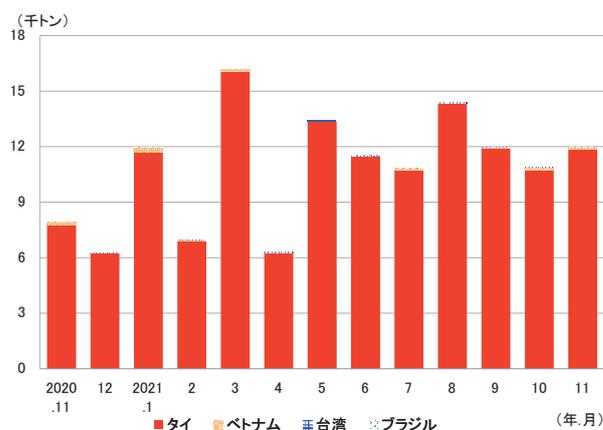
ベトナム 102トン
(同27.3%減、同10.6%減)

ブラジル 4トン
(前年同月および前月輸入実績なし)

台湾 1トン
(前年同月輸入実績なし、前月比67.6%減)

2021年11月の1トン当たりの輸入価格は、5万6089円(前年同月比27.3%高、前月比2.0%高)

図1 タピオカでん粉の国別輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」

注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、1108.14-091、1108.14-099

と、前年同月を大幅に上回った（図2）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

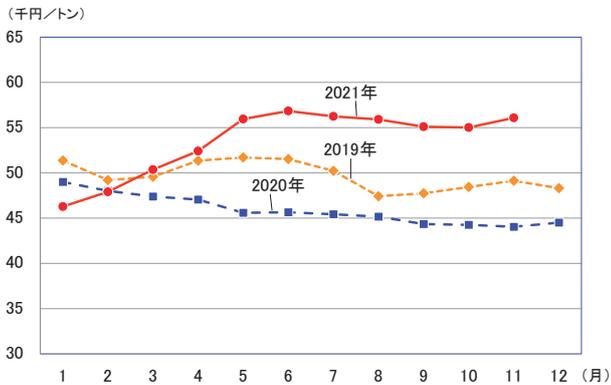
タイ 5万5972円
(前年同月比27.3%高、前月比1.9%高)

ベトナム 5万5343円
(同13.2%高、同10.4%安)

ブラジル 26万3390円
(前年同月および前月輸入実績なし)

台湾 70万7763円
 (前年同月輸入実績なし、前月比4.2倍)

図2 タピオカでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1108.14-010、1108.14-020、1108.14-090、
 1108.14-091、1108.14-099

【サゴでん粉の輸入動向】

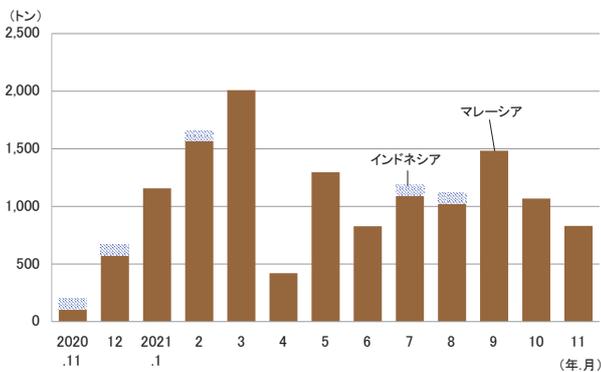
11月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2021年11月のサゴでん粉の輸入量は、831トン（前年同月比4.1倍、前月比22.2%減）と、前年同月から大幅に増加した（図3）。

輸入先国はマレーシアのみで、国別の輸入量は次の通りであった。

マレーシア 831トン
 (前年同月比7.7倍、前月比22.2%減)

図3 サゴでん粉の国別輸入量の推移



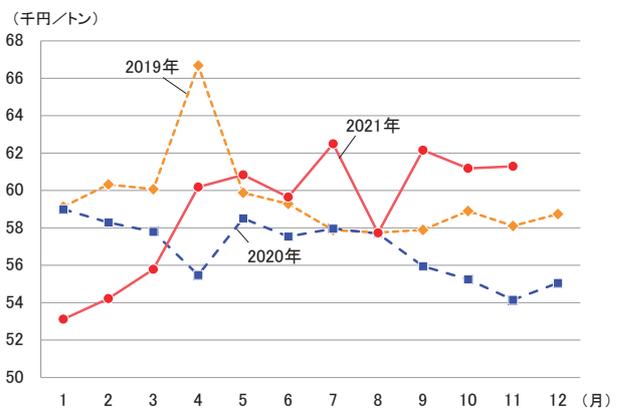
資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、
 1108.19-018、1108.19-019

2021年11月の1トン当たりの輸入価格は、6万1288円(前年同月比13.2%高、前月比0.2%高)と、前年同月をかなり大きく上回った（図4）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

マレーシア 6万1288円
 (前年同月比12.6%高、前月比0.2%高)

図4 サゴでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
 注：HSコード1108.19-011、1108.19-012、1108.19-017、
 1108.19-018、1108.19-019

【ばれいしょでん粉の輸入動向】

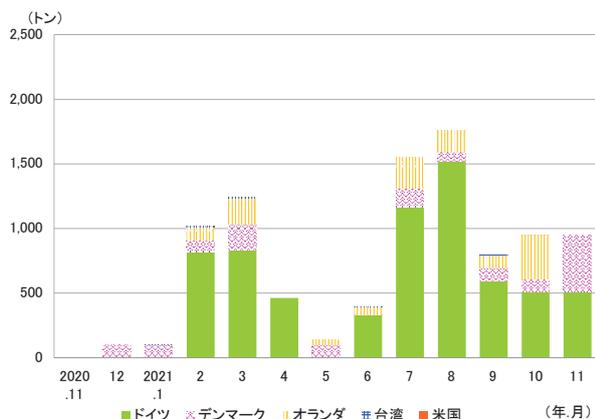
11月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2021年11月のばれいしょでん粉の輸入量は946トン（前年同月比286.7倍、前月比0.1%減）と、前年同月から大幅に増加した（図5）。

輸入先国はドイツおよびデンマークの2カ国で、輸入量は次の通りであった。

ドイツ 506トン
 (前年同月輸入実績なし、前月同)
 デンマーク 440トン
 (前年同月輸入実績なし、前月比4.4倍)

図5 ばれいしょでん粉の国別輸入量の推移



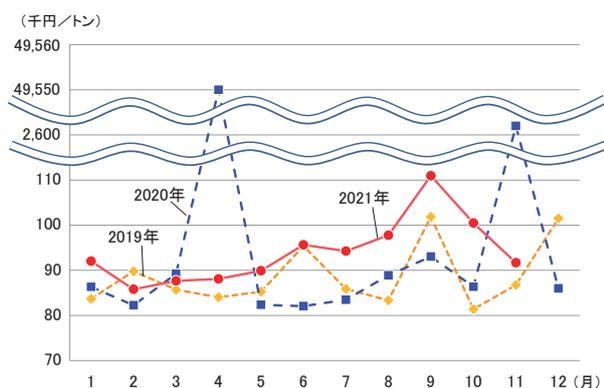
資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

2021年11月の1トン当たりの輸入価格は、9万1689円(前年同月比96.5%安、前月比8.7%安)と、前年同月を大幅に下回った(図6)。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

- ドイツ 9万3836円
(前年同月輸入実績なし、前月比1.6%高)
- デンマーク 8万9220円
(前年同月輸入実績なし、同1.6%高)

図6 ばれいしょでん粉の月別輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1108.13-010、1108.13-020、1108.13-090、1108.13-091、1108.13-099

【でん粉誘導体の輸入動向】

11月の輸入量は前年同月からわずかに増加

財務省「貿易統計」によると、2021年11月の

でん粉誘導体の輸入量は、3万856トン(前年同月比1.5%増、前月比2.3%減)と、前年同月からわずかに増加した(図7)。

でん粉誘導体の輸入先国は18カ国で、最大の輸入先国はタイであった。主要輸入先国からの輸入量は次の通りで、タイが輸入量の約7割を占めており、次いでベトナム、デンマークとなっている(表3)。

表3 でん粉誘導体の主要輸入先国および輸入量(11月)

輸入先国	輸入量(トン)	シェア
合計	30,856	100.0%
うち タイ	21,742	70.5%
ベトナム	1,603	5.2%
デンマーク	1,370	4.4%
スウェーデン	989	3.2%
フランス	974	3.2%
ドイツ	921	3.0%

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-100

2021年11月の1トン当たりの輸入価格は、10万4388円(前年同月比22.9%高、前月比1.0%安)と、前年同月を大幅に上回った。

図7 でん粉誘導体の輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-100

【デキストリンの輸入動向】

11月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2021年11月のデキストリンの輸入量は、1450トン(前年同月比

27.8%増、前月比13.8%増)と、前年同月から大幅に増加した(図8)。

デキストリンの輸入先国は10カ国で、輸入量は上位輸入先国の数量および各国のシェアも含め、月ごとの変動が大きい。

上位輸入先国からの輸入量は次の通りで、タイおよびベトナムで輸入量の約8割を占めている(表4)。

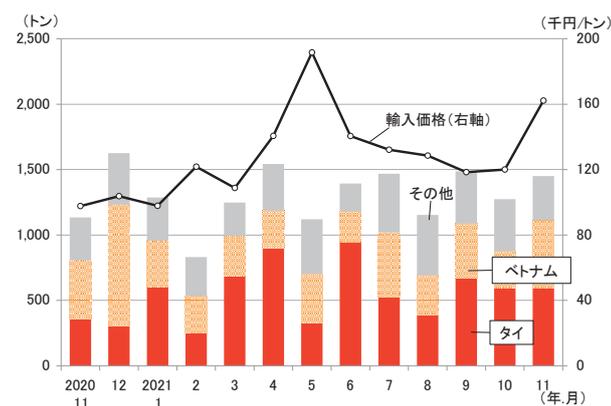
表4 デキストリンの主要輸入先国および輸入量(11月)

輸入先国	輸入量(トン)	シェア
合計	1,450	100.0%
うち タイ	594	41.0%
ベトナム	521	35.9%
ベルギー	112	7.8%
米国	42	2.9%
フランス	38	2.6%
マレーシア	38	2.6%

資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

2021年11月の1トン当たりの輸入価格は、16万2227円(前年同月比66.1%高、前月比35.2%高)と、前年同月を大幅に上回った。

図8 デキストリンの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード3505.10-200

【コーンスターチ用トウモロコシの輸入動向】 11月の輸入量は前年同月からかなりの程度減少

財務省「貿易統計」によると、2021年11月のコーンスターチ用トウモロコシの輸入量は、22万8988

トン(前年同月比9.5%減、前月比44.0%増)となり、前年同月からかなりの程度減少した(図9)。

輸入先国は、米国、南アフリカおよびブラジルの3カ国で国別の輸入量は次の通りであった。

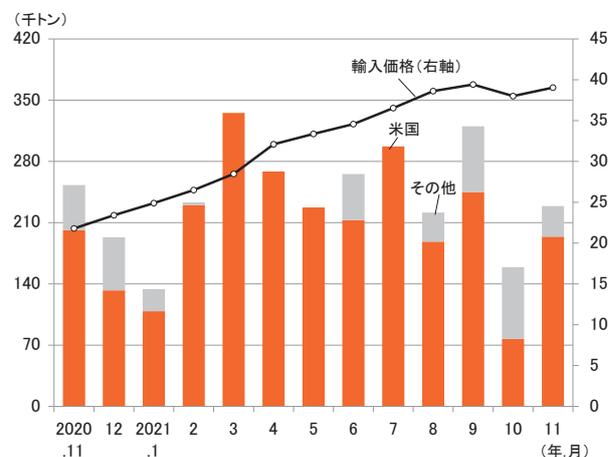
米国 19万3988トン
(前年同月比3.7%減、前月比2.5倍)
南アフリカ 3万2500トン
(前年同月輸入実績なし、同51.7%減)
ブラジル 2500トン
(前年同月比95.1%減、同83.0%減)

2021年11月の1トン当たりの輸入価格は、3万9049円(前年同月比79.2%高、前月比2.7%高)と、前年同月を大幅に上回った。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

米国 3万9553円
(前年同月比79.5%高、前月比0.5%安)
南アフリカ 3万6470円
(前年同月輸入実績なし、同2.4%安)
ブラジル 3万3509円
(前年同月比61.0%高、同5.3%高)

図9 コーンスターチ用トウモロコシの輸入量および輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」
注：HSコード1005.90-091